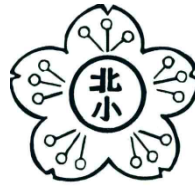


北小物語2018



平成31年 2月12日
平戸市立田平北小学校
学校便りNo. (85)
校長 曾川 和則

◇◇◇ 『い顔』『い声』『い心』 たゆみなく流れて清き「わが田平北小」◇◇◇

学校教育目標：「進んで学び、心豊かで、心身ともにたくましい児童の育成をめざす」

☆☆☆ 第85話：「持ち味を生かす、磨く！～二人の先生の話から学んだこと～」の巻 ☆☆☆



体育館いっぱいに流れたのは、艶やかなギターの色音。そして、北っ子たちの目を奪ったのは、世界の魅力でした。北小の全校朝会では、今年、先生になったばかりの二人（4年2組担任：幾世哲也先生、2年2組担任：白畑夏希先生）が、自分の好きなことや大学時代の思い出を北っ子に語ってくれました。

得意とするギターを手に歌を披露してくれたのは幾世先生。曲目は、「そばにいたいよ～君のために 出来ることがぼくにあるかな～」で始まる秦基博さんの「ひまわりの約束」です。これは、映画「ドラえもん」の主題歌であり、子どもたちにも大人気の歌です。小学生のころ、担任だった先生の影響を受け、音楽の魅力にはまった幾世先生。平戸市青少年音楽会では、卓越したピアノの腕も披露し、4年生の子どもたちのステージを彩りました。「自分の好きなことをとことん追求してください！」。子どもたちに語った幾世先生の言葉は、北っ子たちのこれからの生き方の方向性を示してくれることでしょうか。

日本にはない風景や建物の写真を提示し、世界の魅力を語ってくれたのは白畑先生。大学2年生の春、北米「カナダ」に留学して、そこで見たもの、体験したことを話してくれました。学校の建物が、まるでデパートのような造りであったり、市場で珍しい食材を見たり・・・目に映るもの、耳に入るものが、日本ではないというカルチャーショックを受けながらも、ホームステイをして、現地の家族といっしょに過ごした思い出を言葉にしてくれたのです。白畑先生は、その明るさから誰とでも打ち解け、ふれあうことができます。コミュニケーション力にも磨きがかかる外国体験の魅力に北っ子たちは目を輝かせていました。更にすごいのは、この留学費を親に負担をかけず、アルバイト代で賄ったということです。

人には、その人にしかない「持ち味」があります。二人の先生の話には、それぞれの「持ち味」があふれていました。自分の好きなこと、やってみたいことを、躊躇（ちゅうちょ）することなく、とことんやってみるのです。そこに、その人の「持ち味」が広がります。「好きこそ、ものの上なり」という言葉もあります。幾世先生に刺激を受け、音楽や楽器の演奏に目覚める北っ子、白畑先生に刺激を受け、海外に目を向ける北っ子がたくさん出てくることを期待したい！そんなすてきな全校朝会でした。

☆☆



心と心のふれあい!!

3学期が始まって、早くもひと月が過ぎ去りました。1月には、「地域の方との昔遊び」や1・2年生「おもちゃ大会」、6年生「租税教室」「薬物乱用防止教室」など、たくさんのふれあい行事がありました。人とふれあうことで、心を磨き、高めている子どもたちです。

